

報道関係者各位

2020年12月15日 報道発表資料

ロームシアター京都 開館5周年記念事業



京都に「劇場文化をつくる」ことを目指し、2016年1月にオープンしたロームシアター京都は、早くも2021年1月に開館5周年を迎えることとなりました。そこで、2021年1月～3月の期間は「ロームシアター京都開館5周年記念事業」と題し、これまで培った経験とネットワークを総動員して、特色ある事業を展開いたします。

▶開館5周年記念事業【ホール公演】

対象事業：7事業 [2021年1月10日(日)～3月28日(日)]

▶ロームシアター京都 開館5周年記念誌 [1月10日(日)発行]

▶ロームシアター京都 開館5周年記念ロゴ・ビジュアル、記念展示

【本リリースに関するお問合せ先】

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 松本、長野
電話: 075-771-6051(9:00～17:00) FAX: 075-746-3366 E-mail: press@rohmtatrekyoto.jp

<https://rohmtatrekyoto.jp/>

▶開館5周年記念事業【ホール公演】

対象事業：7事業 [2021年1月10日(日)～3月28日(日)]

- ① 1月10日(日) シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4 雅楽 ～現代舞踊との出会い
- ② 1月17日(日) 京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」
- ③ 1月24日(日) 第354回市民寄席
- ④ 1月27日(水)～31日(日) レポートリーの創造 松田正隆作・演出『シーサイドタウン』
- ⑤ 2月6日(土)～3月28日(日) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING
- ⑥ 2月27日(土)、28日(日) シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3 人形浄瑠璃 文楽
- ⑦ 3月20日(土・祝)、21日(日) ハンブルク・バレエ団 映像上映会

※公演は中止となりました

①シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4 雅楽 ～現代舞踊との出会い

日本の伝統音楽“雅楽”と現代舞踊が出会い、伝統を更新する。

開館5周年を寿ぐ、華やかなコラボレーション！



日程：2021年1月10日(日) 14:00 開演

会場：メインホール

【第一部】 開館5周年を寿ぐ雅楽演奏

演奏：伶楽舎、音輪会

【第二部】 『残影の庭 -Traces Garden』

演奏：伶楽舎

演出振付：金森 穰 出演：Noism0(ノイズムゼロ)

公演プレスリリース [👉こちら](#) (11月25日配信)

②京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」

開館5周年 - ロームシアター京都でしか体験できない、新しいオーケストラコンサート！



日程：2021年1月17日(日) 14:00 開演

会場：メインホール

指揮：園田隆一郎 演出：石橋義正

管弦楽：京都市交響楽団 振付：藤井 泉

出演：森谷真理(歌)、アオイヤマダ、徳井義実(チュートリアル)、茉莉花(コントーション)

池ヶ谷奏、薄田真美子、斉藤綾子、高瀬瑠子、中津文花、

松岡希美(ダンス) / 花園大学 男子新体操部

公演プレスリリース [👉こちら](#) (10月29日配信・11月24日更新)

③第 354 回市民寄席

開館 5 周年記念事業として、祝いの口上を含む、華やかな番組をお送りします。



日程：2021 年 1 月 24 日 (日) 13:30 開演

会場：サウスホール

番組・出演

「江戸荒物」林家 染左

「ふぐ鍋」桂 枝女太

「百年目」桂 福団治

「星野屋」桂 文之助

「多事争論」笑福亭 仁智

④レパトリーの創造 松田正隆作・演出『シーサイドタウン』

松田正隆が 10 年ぶりに京都で演出作品を上演。

出身地・長崎をめぐる物語を、レパトリー作品として創作します。



日程：2021 年 1 月 27 日 (水) ～ 1 月 31 日 (日)

会場：ノースホール

作・演出：松田正隆 (劇作家・演出家・マレビトの会代表)

出演：生実慧、鈴鹿通儀、大門果央、田辺泰信、深澤しほ、横田 僚平

イラストレーション：カナイフユキ

公演プレスリリース [👉こちら](#) (12 月 15 日配信)

⑤KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING



新たなプログラムもスタート——

世界各地の実験的な舞台芸術を紹介するフェスティバル

会期：2021 年 2 月 6 日 (土) ～ 3 月 28 日 (日)

会場：ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座ほか

公式 WEB サイト [👉https://kyoto-ex.jp/](https://kyoto-ex.jp/)

※本日 14 時より事務局による記者会見ならびにプログラム発表を予定。

プレスへのご案内をご希望の方はお申し付けください。

お問い合わせ：KYOTO EXPERIMENT 事務局 [TEL:075-213-5839](tel:075-213-5839)

(C) 小池アイ子

⑥シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3 人形浄瑠璃 文楽『木下蔭狭間合戦「竹中砦の段」』『端模様夢路門松』

伝統芸能の継承と創造を目指すシリーズ第三弾は、文楽。木ノ下歌舞伎主宰・木ノ下裕一をスーパーバイザーに招き、「87年ぶりに蘇る大曲」と「三世桐竹勘十郎の若き日の新作」、文楽の豪華二本立てを企画!



写真：桂秀也

日程：2021年2月27日(土)、2月28日(日)

会場：サウスホール

演目：

木下蔭狭間合戦「竹中砦の段」(このしたかげはざまがっせん)

端模様夢路門松(つめもようゆめじのかどまつ)

上演後、本企画関係者によるディスカッションも実施。

出演：桐竹勘十郎、鶴澤藤蔵、木ノ下裕一

公演プレスリリース [👉こちら](#) (9月1日配信)

⑦ハンブルク・バレエ団 映像上映会

2021年3月28日(日)に公演を予定しておりました、ハンブルク・バレエ団「ベートーヴェン・プロジェクト」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、大変残念ではございますが、公演を中止することとなりました。

日本への入国に際して必要な水際措置、防疫措置等を踏まえ、バレエ団と実現に向けた調整を重ねてまいりましたが、新型コロナウイルスの第3波が猛威をふるい、ヨーロッパにおいても劇場が閉鎖されている状況から、総合的に来日は非常に難しい状況であると判断し、このような苦渋の決断を行うこととなりました。

バレエ団の来日は叶いませんが、今回京都で上演を予定していた演目『ベートーヴェン・プロジェクト』と、コロナ禍に生まれた2020年9月の新作『ゴースト・ライト』の2本立てで、映像上映会を開催することが決定いたしました。

ハンブルク・バレエ団 映像上映会



日程：2021年3月20日(土・祝)、21日(日)

会場：サウスホール

上映作品：①『ベートーヴェン・プロジェクト』

②『ゴースト・ライト』

上映時間(両日)：①13:00～(約2時間)

②17:00～(約1時間半)

料金：一般=2,000円、ユース(25歳以下)=1,000円、

18歳以下=無料 ほかセット券あり

発売日：1月24日(日) 会員先行、1月31日(日) 一般

「ゴースト・ライト」より (C) Kiran West

▶ロームシアター京都 開館5周年記念誌

ロームシアター京都の開館5周年を記念し、撮りおろし建築グラビアや過去公演の記録写真、参加アーティストからのメッセージなど盛りだくさんのコンテンツを濃縮した、永久保存版の書籍を発行します。

発行 | 2021年1月10日

仕様 | ハードカバー208ページ

価格 | 2,500円(税別)

ロームシアター京都 総合案内、京都岡崎 蔦屋書店、劇場公式オンラインストア(開設準備中)等で販売予定



CONTENTS

-ロームシアター京都カラーグラビア(撮影:市川靖史)

-リニューアルオープンまでの経緯

京都会館の誕生 | 京都の都市政策 | 再整備の機運が高まるまで | 岡崎地域活性化ビジョン | 再整備基本計画 | 建物価値の継承 | ローム株式会社との命名権契約 | コンセプト「劇場文化をつくる」 | 賑わいスペース事業プラン | オープニング事業検討委員会

-ロームシアター京都の施設・設備・サービス

施設概要・平面図 | ホール [メインホール・サウスホール・ノースホール] | その他構内地 | 改修設計 | 設備管理・運営

[寄稿] 香山壽夫、下川太一(香山壽夫建築研究所)

-ロームシアター京都の利用状況と運営体制

運営のあり方について | 施設利用状況 | 事業運営体制・事業内容・運営費 | 施設利用者の声

[寄稿] 大澤寅雄(株式会社ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員)

-小澤征爾、松本功(ローム株式会社 代表取締役社長 社長執行役員)からのお祝いメッセージ

-ロームシアター京都自主事業記録写真カラーグラビア

-創造現場としてのロームシアター京都

[対談] 井上八千代×金剛永謹 | 下野竜也×三浦基 | 吉岡洋×木ノ下裕一

[寄稿] 京都の創造環境におけるロームシアター京都の位置と使命

演劇編(森山直人) | 舞踊編(竹田真理) | 音楽編(田隅靖子)

アーティスト、クリエイターからのメッセージ

片山 九郎右衛門 | 茂山千五郎 | 笑福亭仁智(上方落語協会会長) | 栗山民也 | 岡田利規 | たみお | 尾上菊之丞 | 笠井 叡 | 康本雅子 | ジゼル・ヴィエンヌ | 広上淳一 | 高木正勝 | 寒川晶子 | アルディッティ弦楽四重奏団 | タンプッコ・パーカッション・アンサンブル | アレクサンドル・デスプラ/ソルレイ | 高谷史郎 | 加藤賢策 | KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター(塚原悠也、ジュリエット・礼子・ナップ、川崎陽子)

[座談会] 岡崎の未来を考える

-ロームシアター京都5年の記録[催物データ]

-京都会館条例・京都会館条例施行規則

-支援・協力企業からのお祝いメッセージ

▶ロームシアター京都 開館5周年記念ロゴ・ビジュアル、記念展示



ロームシアター京都開館5周年記念 特設WEBサイト <https://rohmtheatrekkyoto.jp/5th-anniversary/>

開館5周年を市民のみなさまとともに祝い、改めてロームシアター京都を身近に感じていただくために、開館5周年記念ロゴの作成と、開館5周年記念ビジュアルポスターを市内各所に掲出、そして特設WEBサイトをオープンいたします。(ロゴ&ビジュアル アートディレクション:LABORATORIES/ ラボラトリーズ)

2021年1月10日に迎えるロームシアター京都の開館5周年は、京都会館のオープンから60周年の期間にもあたります。ロゴマークでは、リニューアル間もない新しさと同時に歴史も感じられるロームシアター京都という場を表現するため、「5」の数字の背景に「60」を潜ませロゴマークとしてまとめています。

また、記念ビジュアルはメインホールで撮影した写真を採用。老若男女の市民のみなさまにご登場いただき、「人生のなかにいつもある劇場」という言葉とともに、これまでとこれからという世代を超えて思い出が引き継がれる場所としてのロームシアター京都のイメージを表現しています。

記念展示

・開館5周年記念展示

パークプラザ3階ミュージックサロンにおいて記念展示実施予定

・建築ドキュメンテーションダンス (仮)

ロームシアター京都を、自らの意思で流れるように空間を移動でき、VRのように360°見渡すことができる「360° & シークエンス」の3Dモデルデータとして記録。その3Dデータには、建築のコンセプトやポイントはもちろん、舞台芸術の場所として、単に建物の歴史だけでなく、そこで行われる舞台表現やそこで過ごす人々の振る舞いをも記録します。